

代表者

問合せ先責任者

平成21年3月期 第3四半期決算短信



上場取引所

平成21年2月6日

(百万円未満切捨て)

上場会社名 テイ・エス テック株式会社

コード番号 7313 URL http://www.tstech.co.jp

(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古明地 利雄 (役職名) 総務部長 (氏名) 今井 昇

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日 TEL 048-462-1121

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日~平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | i | 営業利 | 益 | 経常利 | 益 | 四半期純 | 利益 |
|-------------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 330,296 | _ | 15,077 | _ | 13,991 | _ | 6,134 | _ |
| 20年3月期第3四半期 | 358,010 | 16.6 | 19,762 | 74.1 | 20,767 | 66.2 | 11,936 | 84.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利 益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 21年3月期第3四半期 | 90.21 | _ |
| 20年3月期第3四半期 | 351.07 | _ |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | 175,589 | 101,463 | 51.4 | 1,327.12 |
| 20年3月期 | 189,348 | 104,293 | 49.4 | 2,749.14 |

(参考) 白己資本

21年3月期第3四半期 90,242百万円

20年3月期 93.469百万円

(注)平成20年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行いましたので、21年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び1株当たり 純資産は、分割後の株式数(自己株式を除く)に基づき算出しております。

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|--|--|
| (基準日) | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円銭 | 円 銭 | | |
| 20年3月期 | _ | 17.00 | _ | 22.00 | 39.00 | | |
| 21年3月期 | _ | 11.00 | _ | | | | |
| 21年3月期(予想) | | | | 11.00 | 22.00 | | |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成20年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行いましたので、21年3月期及び21年3月期(予想)の1株当たり配当金は、 分割後の株式数に基づき記載しております。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | <u>, </u> | 営業利 | 益 | 経常利 | 益 | 当期純和 | 利益 | 1株当たり当期純 利益 |
|----|---------|---|--------|-------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 409,700 | △14.5 | 14,200 | △45.9 | 13,500 | △50.0 | 4,300 | △74.0 | 63.24 |

⁽注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

1 社 (社名 リミテッド リンラジャスタンプライベート) 除外 二 社(社名) 新規

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 - (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 - ①会計基準等の改正に伴う変更 有
 - (2) (1)以外の変更 右
 - (注)詳細は、5~6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 68.000.000株 20年3月期 34 000 000株 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,354株 20年3月期 561株 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 67,998,788株 20年3月期第3四半期 33,999,707株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予 想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり 得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提となる仮定については、4ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。 2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第

14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

3. 平成20年4月1日付で、平成20年3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割して <u>おります。</u> -1-

(参考) 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上 | 高 | 営業利益 | ž. | 経常和 | J益 | 当期純 | 利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|----------|--------|---------|----|--------|-------|-----|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 140, 700 | △22. 3 | △4, 200 | _ | 1, 200 | △87.0 | 100 | △98.4 | 1. 47 |

(注) 個別業績予想値の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期の個別業績予想につきましては、平成21年1月30日に別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において、修正しております。

【定性的情報·財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日~平成20年12月31日)における世界経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融危機の影響が、秋以降、次第に実体経済へも波及し、世界的に景気の悪化が進む、大変厳しい状況となりました。

当グループの関連する自動車業界におきましても、世界的な自動車需要の減少を受け、市場が急速に縮小しております。

当第3四半期連結累計期間における業績は、国内では主要客先の完成車輸出の減少や国内自動車市場の 急激な冷え込みにより、受注は大幅に減少しました。

海外子会社におきましても、北米において小型車へのシフトによる受注機種構成の変化及び米国自動車 市場の縮小により主要客先からの受注は減少しました。

一方、中国、イギリス及びアジア地域での受注は概ね順調に推移しました。

売上高につきましては、為替換算上の影響に加え、日本及び北米地域における受注減少の影響等により、3,302億96百万円と前年同四半期に比べ277億14百万円 (7.7%)の減収となりました。利益につきましては、減収に伴う利益の減少のほか、原材料価格の高騰、為替影響等により、営業利益は150億77百万円と前年同四半期に比べ46億84百万円 (23.7%)の減益、経常利益は139億91百万円と前年同四半期に比べ67億76百万円 (32.6%)の減益、四半期純利益は61億34百万円と前年同四半期に比べ58億2百万円 (48.6%)の減益となりました。

事業別売上高の状況につきましては、二輪事業では、売上高は60億6百万円となりました。

四輪事業では、売上高は3,214億58百万円となりました。主力製品の四輪車用シートにつきましては、売上高は2,662億99百万円となりました。また、ドアトリム及びルーフトリムなどの内装品等につきましては、売上高は551億59百万円となりました。

その他事業では、売上高は28億31百万円となりました。

なお、所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

(日本)

売上高は、主要客先からの受注減少及び機種構成変化に加え、海外向け日本供給部品売上の減少等により、1,214億42百万円と前年同四半期に比べ234億89百万円(16.2%)の減収となりました。利益面では、減収に伴う利益の減少や原材料価格の高騰、為替影響等により、営業利益は14億90百万円と前年同四半期に比べ66億12百万円(81.6%)の減益となりました。

(北米)

売上高は、主に主要客先からの受注の減少や為替換算上の影響により、1,147億27百万円と前年同四半期に比べ229億68百万円(16.7%)の減収となりました。利益面では、前期に発生したモデルチェンジ時の費用減少はあったものの、受注機種構成の変化やインディアナ新工場の立上げ準備費用の増加等により、95百万円の営業損失(前年同四半期は45百万円の営業損失)となりました。

(中国)

売上高は、為替換算上の影響はあったものの、広州及び武漢における主要客先からの受注が増加したことにより、521億87百万円と前年同四半期に比べ99億61百万円 (23.6%) の増収となりました。利益面では、為替換算上の影響はあったものの、増収に伴う利益の増加等により、営業利益は61億69百万円と前年同四半期に比べ1億40百万円 (2.3%) の増益となりました。

(その他の地域)

売上高は、アジア地域において、為替換算上の影響はあったものの、総じて受注が増加したこと等により、646億71百万円と前年同四半期に比べ55億49百万円 (9.4%) の増収となりました。利益面では、為替換算上の影響はあったものの、増収に伴う利益の増加等により、営業利益は98億15百万円と前年同四半期に比べ17億43百万円 (21.6%) の増益となりました。

(注) 当連結会計年度より四半期会計基準等を適用したため、上記における前年同四半期との対比につきましては、 業績説明上の参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,755億89百万円と前連結会計年度末に比べ137億58百万円(7.3%)の減少となりました。流動資産につきましては、1,093億70百万円と前連結会計年度末に比べ70億円(6.0%)の減少となりました。これは、受取手形及び売掛金が49億57百万円減少したことが主な要因です。固定資産につきましては、662億19百万円と前連結会計年度末に比べ67億57百万円(9.3%)の減少となりました。これは、投資有価証券の評価減等により、投資その他の資産が50億13百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、741億26百万円と前連結会計年度末に比べ109億28百万円(12.8%)の減少となりました。流動負債につきましては、690億64百万円と前連結会計年度末に比べ91億30百万円(11.7%)の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金が96億77百万円減少したことが主な要因です。固定負債につきましては、50億61百万円と前連結会計年度末に比べ17億98百万円(26.2%)の減少となりました。これは、投資有価証券の評価減に伴い、繰延税金負債が減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,014億63百万円と前連結会計年度末に比べ28億30百万円(2.7%)の減少となりました。これは、為替換算調整勘定が43億52百万円減少したことが主な要因です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想は、第3四半期実績及び近況を反映し、以下の通り修正しております。 業績予想の詳細につきましては、平成21年1月30日に別途公表しております「業績予想の修正に関するお 知らせ」をご参照下さい。

> 連結売上高 4,097億円(前連結会計年度比 14.5%減) 連結営業利益 142億円(前連結会計年度比 45.9%減) 連結経常利益 135億円(前連結会計年度比 50.0%減) 連結当期純利益 43億円(前連結会計年度比 74.0%減)

なお、為替レートにつきましては、第4四半期平均で1米ドル=90円、1人民元=14.0円、通期平均で1米ドル=99.6円、1人民元=14.9円を前提としています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

第2四半期連結会計期間から、新たに設立したテイエス テック サン ラジャスタン プライベートリミテッドを連結の範囲に含めています。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - 1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

2. 原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への 配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっています。

3. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

5. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に 対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税 率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しています。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - 1. 四半期会計基準等の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

2. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。

なお、これによる損益およびセグメント情報に与える影響は軽微です。

3. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な 修正を行っています。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ231百万円増加し、また利益剰余金は1,037百万円減少しています。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

4. リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しています。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に357百万円計上されています。なお、これによる損益およびセグメント情報に与える影響は軽微です。

5. 【四半期連結財務諸表】 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22, 761 | 22, 252 |
| 受取手形及び売掛金 | 58, 184 | 63, 142 |
| 製品 | 2, 306 | 2, 261 |
| 仕掛品 | 2, 051 | 2, 127 |
| 原材料及び貯蔵品 | 15, 957 | 19, 101 |
| その他 | 8, 218 | 7, 598 |
| 貸倒引当金 | △110 | △113 |
| 流動資産合計 | 109, 370 | 116, 370 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 51, 068 | 53, 173 |
| 無形固定資産 | 2, 244 | 1, 884 |
| 投資その他の資産 | 12, 906 | 17, 919 |
| 固定資産合計 | 66, 219 | 72, 977 |
| 資産合計 | 175, 589 | 189, 348 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 45, 423 | 55, 101 |
| 短期借入金 | 11, 098 | 9, 473 |
| 未払法人税等 | 1, 558 | 2, 325 |
| 引当金 | 871 | 1, 625 |
| その他 | 10, 111 | 9, 668 |
| 流動負債合計 | 69, 064 | 78, 194 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 163 | 1, 535 |
| その他 | 4, 897 | 5, 324 |
| 固定負債合計 | 5, 061 | 6, 859 |
| 負債合計 | 74, 126 | 85, 054 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4, 700 | 4, 700 |
| 資本剰余金 | 5, 163 | 5, 163 |
| 利益剰余金 | 82, 912 | 79, 334 |
| 自己株式 | $\triangle 2$ | $\triangle 2$ |
| 株主資本合計 | 92, 772 | 89, 194 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3, 677 | 6, 130 |
| 為替換算調整勘定 | △6, 208 | △1,855 |
| 評価・換算差額等合計 | △2, 530 | 4, 274 |
| 少数株主持分 | 11, 221 | 10, 824 |
| 純資産合計 | 101, 463 | 104, 293 |
| 負債純資産合計 | 175, 589 | 189, 348 |
| クトスポロス/エロ FI | | 109, 340 |

(2)【四半期連結損益計算書】 【第3四半期連結累計期間】

| 【第3四半期連結累計期間】 | (単位:百万円) |
|--------------------|--|
| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) |
| 売上高 | 330, 296 |
| 売上原価 | 296, 593 |
| 売上総利益 | 33, 703 |
| 販売費及び一般管理費 | |
| 荷造運搬費 | 4, 264 |
| 給料及び手当 | 6, 533 |
| その他 | 7, 826 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 18, 625 |
| 営業利益 | 15, 077 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 468 |
| 受取配当金 | 273 |
| 持分法による投資利益 | 446 |
| その他 | 449 |
| 営業外収益合計 | 1,638 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 312 |
| 為替差損 | 2, 359 |
| その他 | 53 |
| 営業外費用合計 | 2,724 |
| 経常利益 | 13, 991 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 125 |
| その他 | 8 |
| 特別利益合計 | 134 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 8 |
| 固定資産除却損 | 216 |
| その他 | 2 |
| 特別損失合計 | 226 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13, 899 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4, 643 |
| 法人税等合計 | 4, 643 |
| 少数株主利益 | 3, 121 |
| 四半期純利益 | 6, 134 |
| - 1 //4/10 1 4 mm² | 0, 101 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
|--|-------------------|
| 税金等調整前四半期純利益 | 13, 899 |
| 減価償却費 | 7, 402 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △1, 249 |
| 受取利息及び受取配当金 | △741 |
| 支払利息 | 312 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △446 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △117 |
| 有形固定資産除却損 | 216 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2, 174 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 1, 297 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △5, 523 |
| その他 | △758 |
| 小計 | 16, 464 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1, 270 |
| 利息の支払額 | △314 |
| 法人税等の支払額 | △5, 616 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11, 803 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8, 938 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 214 |
| その他 | △1, 227 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9, 952 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 2,620 |
| 配当金の支払額 | $\triangle 1,495$ |
| 少数株主への配当金の支払額 | △624 |
| その他 | △85 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 414 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | <u>△1, 751</u> |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 513 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 22, 147 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 22, 660 |
| 2011/20 2011/2011/2011/2011/2011/2011/20 | |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表 に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結 財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記 該当する事項はありません。

(5) 追加情報

1. 役員退職慰労引当金

当社は従来、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を役員退 職慰労引当金として計上してきましたが、平成20年6月24日開催の定時株主総会において役員退職慰 労金制度廃止に伴う打切り支給を決議しました。

この結果、第1四半期連結会計期間中に退任した役員への支給分を除く、当該定時株主総会終了時 までの期間に対応する役員退職慰労金相当額を、固定負債の「その他」に計上しています。

2. 減価償却費

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より既存資産を含め た機械及び装置について、改正後の法人税法に基づく耐用年数に従い減価償却を行っています。 なお、これによる損益およびセグメント情報に与える影響は軽微です。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社及び連結子会社は、四輪車用シート及び四輪車用内装品、二輪車用シート及び二輪車用附属 用品等の製造を行っています。

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める四輪事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 中国 (百万円) | その他の地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|------------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 101, 562 | 114, 718 | 49, 469 | 64, 546 | 330, 296 | _ | 330, 296 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 19, 879 | 8 | 2, 717 | 125 | 22, 732 | (22, 732) | _ |
| 計 | 121, 442 | 114, 727 | 52, 187 | 64, 671 | 353, 028 | (22, 732) | 330, 296 |
| 営業利益又は営業損 失(△) | 1, 490 | △95 | 6, 169 | 9, 815 | 17, 380 | (2, 302) | 15, 077 |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地域的近接度によっています。
 - 2 本邦以外の区分に属する国又は地域
 - (1) 北米……アメリカ・カナダ・メキシコ
 - (2) 中国……中国・香港
 - (3) その他の地域……タイ・フィリピン・インド・イギリス・インドネシア・ブラジル
 - 3 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。この変更に伴い、「中国」について、営業費用が239百万円少なく、営業利益は239百万円多く、「その他の地域」について、営業費用が7百万円多く、営業利益は7百万円少なく計上されています。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

| | | 北米 | 中国 | その他の地域 | 計 |
|----|--------------------------|----------|---------|---------|----------|
| Ι | 海外売上高(百万円) | 114, 783 | 49, 772 | 64, 758 | 229, 313 |
| II | 連結売上高(百万円) | _ | _ | _ | 330, 296 |
| Ш | 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 34.8 | 15. 0 | 19. 6 | 69. 4 |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地域的近接度によっています。
 - 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 - (1) 北米……アメリカ・カナダ・メキシコ
 - (2) 中国……中国·香港
 - (3) その他の地域…タイ・フィリピン・インド・イギリス・インドネシア・ブラジル
 - 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間より適用し、連結決算上必要な修 正を行った結果、利益剰余金は前連結会計年度末に対して1,037百万円減少しています。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前第3四半期連結損益計算書

| | 前第3四半期連結累計期間 | | |
|---------------|--------------------------------|--|--|
| | (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) | | |
| 区分 | 金額(百万円) | | |
| I 売上高 | 358, 010 | | |
| Ⅱ 売上原価 | 318, 422 | | |
| 売上総利益 | 39, 588 | | |
| Ⅲ 販売費及び一般管理費 | 19, 826 | | |
| 営業利益 | 19, 762 | | |
| IV 営業外収益 | 1, 420 | | |
| 1 受取利息及び受取配当金 | 535 | | |
| 2 持分法による投資利益 | 431 | | |
| 3 為替差益 | 162 | | |
| 4 その他 | 290 | | |
| V 営業外費用 | 414 | | |
| 1 支払利息 | 379 | | |
| 2 その他 | 34 | | |
| 経常利益 | 20, 767 | | |
| VI 特別利益 | 136 | | |
| VII 特別損失 | 144 | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 20, 760 | | |
| 税金費用 | 5, 884 | | |
| 少数株主利益 | 2, 939 | | |
| 四半期純利益 | 11, 936 | | |

(2) (要約) 前第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 芸体の四水和洋外田乳和田 | | | |
|----------------------|--------------------------------|--|--|--|
| | 前第3四半期連結累計期間 | | | |
| | (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) | | | |
| 区分 | 金額(百万円) | | | |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 1 税金等調整前四半期純利益 | 20, 760 | | | |
| 2 減価償却費 | 6, 857 | | | |
| 3 受取利息及び受取配当金 | △535 | | | |
| 4 支払利息 | 379 | | | |
| 5 持分法による投資利益 | △431 | | | |
| 6 売上債権の増減額(△は増加) | △6, 688 | | | |
| 7 たな卸資産の増加額 | △998 | | | |
| 8 仕入債務の増加額 | 2, 184 | | | |
| 9 その他 | 1, 741 | | | |
| 小計 | 23, 268 | | | |
| 10 利息及び配当金の受取額 | 540 | | | |
| 11 利息の支払額 | △385 | | | |
| 12 法人税等の支払額 | △5, 191 | | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 18, 231 | | | |
| Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 1 有形固定資産の取得による支出 | △13, 061 | | | |
| 2 有形固定資産の売却による収入 | 209 | | | |
| 3 その他 | △615 | | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13, 467 | | | |
| Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 1 短期借入金の純増額 | 2, 682 | | | |
| 2 長期借入金の返済による支出 | △28 | | | |
| 3 自己株式の取得による支出 | $\triangle 2$ | | | |
| 4 配当金の支払額 | △1, 155 | | | |
| 5 少数株主への配当金の支払額 | △1,630 | | | |
| 6 その他 | △18 | | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △152 | | | |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 32 | | | |
| V 現金及び現金同等物の増加額 | 4, 644 | | | |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 9, 712 | | | |
| VII 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14, 356 | | | |

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前年同四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

当社及び連結子会社は、四輪車用シート及び四輪車用内装品、二輪車用シート及び二輪車用附属用品等の製造を行っています。

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める四輪事業分野の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

【所在地別セグメント情報】

前年同四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円未満切捨)

| | 日本 | 北米 | 中国 | その他 の地域 | 計 | 消去 又は全社 | 連結 |
|------|----------|----------|---------|------------|----------|------------|----------|
| 売上高 | 144, 931 | 137, 696 | 42, 225 | 59, 122 | 383, 975 | (25, 964) | 358, 010 |
| 営業費用 | 136, 828 | 137, 741 | 36, 195 | 51, 050 | 361, 816 | (23, 568) | 338, 248 |
| 営業利益 | 8, 102 | △45 | 6, 029 | 8, 072 | 22, 158 | (2, 396) | 19, 762 |